

科目ナンバー： BC5032

授業コード： 2230500300

講義科目名称： 看護倫理

英文科目名称： Nursing Ethics

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員			
大久保明子、高柳智子、◎岡村典子、小長谷百絵、谷本千恵、小林綾子、八巻ちひろ			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 後期	【授業時間】 15時間		
	【担当教員】			
	【氏名】	【所属】	【研究室】	【メールアドレス】
	◎岡村 典子 cn.ac.jp	新潟県立看護大学	216	norio@niigata-
	大久保 明子 cn.ac.jp	新潟県立看護大学	207	ohkubo@niigata-
	高柳 智子 cn.ac.jp	新潟県立看護大学	203	takatomo@niigata-
	小長谷 百絵 cn.ac.jp	新潟県立看護大学	213	konagaya@niigata-
	谷本 千恵 cn.ac.jp	新潟県立看護大学	312	tanimoto@niigata-
	小林 綾子 cn.ac.jp	新潟県立看護大学	205	otsuka@niigata-
	八巻 ちひろ cn.ac.jp	新潟県立看護大学	309	cyamaki@niigata-
実務経験のある教員が担当します。				
【本学の科目区分】 専門科目				
【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程・保健師課程				
【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】 ◎ ○				

到達目標	1. 看護倫理の歴史と倫理原則について理解できる。 2. 看護専門職として、看護倫理の意義と重要性について説明できる。 3. 看護倫理に関連する重要概念が理解できる。 4. さまざまな看護活動における特徴的な倫理的課題について理解し、専門職としての自己のあり方について思考できる。
------	---

授業概要	看護専門職として必要な看護倫理に関する基礎知識と看護者の倫理的行動につながる諸概念について学ぶ。また、さまざまな看護活動における代表的な倫理的課題について考察する。
------	--

授業計画	1 授業内容 授業形態：講義 学修課題：看護倫理の基本① 学修内容：倫理学の基本的な考え方、生命倫理、看護倫理の歴史と倫理原則 事前学修：ニュースや新聞等の医療に関する内容を探し、倫理的視点で見る/読む。 事後学修：看護師の「徳の倫理」について思考する 備考：大久保 2 授業内容 授業形態：講義 学修課題：看護倫理の基本② 学修内容：看護専門職と倫理、看護職の倫理綱領（日本看護協会） 事前学修：必携図書の第7章「専門職の倫理」を読んでおくこと。 事後学修：看護職の倫理綱領の本文1～16について、どのような行動がその体現となりうるのか自身の考えを論述する。 備考：高柳 3 授業内容 授業形態：講義 学修課題：看護倫理と重要概念 学修内容：アソボカシー、個人情報保護、インフォームドコンセント、個人の権利、守秘義務等 事前学修：看護学概論（一年次）にて学修した内容を復習する 事後学修：看護学実習にて留意する倫理事項を整理する
------	--

	4 備考：岡村 授業内容 授業形態：講義 学習課題：さまざまな看護活動と倫理 1 学習内容：生殖にまつわる看護倫理 事前学修：ニュースや新聞等の生殖医療に関する内容を探し、倫理的視点で見る/読む 事後学修：母性看護場面における倫理的課題の特徴を整理し、自身の倫理観を述べる 備考：八巻 5 授業内容 授業形態：講義 学修課題：さまざまな看護活動と倫理 2 学修内容：こどもと家族への看護倫理 事前学修：小児医療・小児看護における倫理的課題について調べる 事後学修：テキスト「小児看護における事例分析」の章を読み、自分の考えを整理する 備考：大久保 6 授業内容 授業形態：講義 学修課題：さまざまな看護活動と倫理 3 学修内容：病と闘う人への看護倫理 事前学修：必携図書のP74-78「移植医療」を読んでくこと。 事後学修：授業時に説明する。 備考：小林（綾） 7 授業内容 授業形態：講義 学習課題：さまざまな看護活動と倫理 4 学習内容：人生の晩年期を生きる人への看護倫理 事前学修：老年看護学Ⅱ：高齢者虐待の予防とその対応，終末期のケアの資料を振り返る 事後学修：人生の晩年期における倫理的課題についての考えを整理し論述する 備考：小長谷 8 授業内容 授業形態：講義 学習課題：さまざまな看護活動と倫理 5 学習内容：強制や制限のある人への看護倫理 事前学修：資料（精神疾患を有する者の保護及びメンタルヘルスケア改善のための諸原則、精神科看護職の倫理綱領）を読んでおくこと。 事後学修：講義スライドと配布資料を読み、事後学修課題に取り組むこと。 備考：谷本
評価方法、評価基準	課題レポート(100%)により、到達目標1～4を評価する。 単元ごとの評価は各担当教員が行い、科目責任者が総合評価を行う。 課題レポートのテーマや評価については、講義時に各担当教員が提示する。
必携図書	宮坂道夫他：看護倫理（系統看護学講座 別巻）医学書院
参考図書・資料等	資料等は、必要時配布する。
受講、課題、資料配布等のルール	20分以上の遅刻や退室は、欠席となる。2/3以上（6コマ以上）の出席がない場合は、評価の対象としない。 課題レポートによる評価のため、再試験は行わない。
教員からのメッセージ	倫理は看護実践の中心にあるべきもので、自律した専門職になるためには欠かせないものです。様々な場面における倫理的課題について感受性を高め、自己の看護観形成に努めてください。
オフィスアワー	全教員：在室時、対応可能（メール等での事前連絡が望ましい）